

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 三菱ケミカル旭化成エチレン株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-2	
本票作成	部署名：水島工場 生産管理課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目10番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 3 年度)
	427,310 t CO <sub>2</sub>	449,000 t CO <sub>2</sub>	388,280 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	水島工場	449,000 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 令和 3 年度 ( 5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.7 %	0.6 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		382.400 t CO <sub>2</sub> /(千 t )	368.410 t CO <sub>2</sub> /(千 t )	380.020 t CO <sub>2</sub> /(千 t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等
指標の状況	石油化学系基礎製品製造業	11.9 GJ/t 以下	13.2 GJ/t	90.2%

【削減状況の自己評価】

・削減目標は、現時点で予定している削減案件を考慮して算出(原単位基準)。  
 ・昨年度は新たな省エネルギー化テーマを数件発掘したので、計画に追加して目標達成に向け取り組んだ。  
 (備考)最終年度である2021年度(令和3年度)は定期修理年度

**【推進体制】**

2016年4月の会社設立以降、エネルギー管理体制の整備を進めてきており、エネルギー管理統括者に副社長、エネルギー管理企画推進者に工場長を選任し、工場部門の管理職・スタッフの中からエネルギー管理者4名を選任して推進している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>(平成30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分解ガス圧縮機のインタークーラーは、各段とも複数基あり、運転状況により活かす基数を変更している。その基数の運用最適化の検討を行い最適な運用方法を確立し実運用に反映する事で、分解ガス圧縮機の軸動力削減を図った。 (CO2削減量;274t/年)</li> </ul> <p>(今後の実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超高压蒸気温度最適化 (CO2削減量 ; 1116t/年)</li> <li>・脱メタン系冷熱回収 (CO2削減量 ; 1113t/年)</li> <li>・クエンチウォーター排熱回収強化 (CO2削減量 ; 3814t/年)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

・旭化成と三菱化学の合弁会社として2016年4月三菱化学旭化成エチレン発足。2017年4月三菱ケミカル旭化成エチレンへ社名変更。  
 ・エチレン製造設備は旧三菱化学設備に集約、貯蔵設備は旭化成、三菱ケミカル各事業所内に有するため、エチレン製造設備+貯蔵設備の合計値を、三菱ケミカル旭化成エチレン排出量として報告する。